

平成22年度アドミッション・オフィス入試の「適性試問」における
出題ミスについて

11月25日（水）・26日（木）に実施しましたアドミッション・オフィス入試
の「適性試問」において出題ミスがありましたので、お知らせします。

受験者の皆様には、多大な御迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し
上げます。

- 1 試験実施日：平成21年11月25日（水）・26日（木）
- 2 対象学部・学科：理学部・数理情報科学科
- 3 受験者数：29人
- 4 出題ミスの内容：
問題 1 の(1)の設問

$$|\vec{a}|=1, \quad |\vec{b}|=\sqrt{3}, \quad |\vec{a}+\vec{b}|=5 \quad \text{のとき, 内積 } \vec{a}\cdot\vec{b} \text{ を求めよ。}$$

この問題は、内積の性質(公式)を用いて解くと、 $\vec{a}\cdot\vec{b}=21/2$ の解を得られますが、問題で設定しているベクトルは、三角不等式を満たしていないので、このようなベクトルは存在しません。すなわち、存在しないベクトルに対して、その内積を求めさせる問題が不適切でありました。

- 5 講じた措置：
出題のままでは不適切であるため、問題 1 (1)の解答については、全員正解とし、受験者全員へ周知しております。

- 6 今後の対応策：

「適性試問」の問題は、問題作成後に、複数の委員によるチェック体制を
確立しておりましたが、今回、このような事態が発生したことから、再びミ
スを繰り返さないよう、体制を点検し、今後、受験者の皆様に御迷惑をお掛
けしないよう、一層の努力をいたします。